

日本医療検査科学会 第 58 回大会終了のご挨拶

このたび、2026 年 10 月 8 日から 10 日までの 3 日間、神戸国際会議場において日本医療検査科学会第 58 回大会を開催し、盛会のうちに無事終了することができました。大会期間中は天候にも恵まれ、2,489 名もの皆様にご参加いただきました。また、JACLaS EXPO 2026 にも多くの方々にご来場いただき、心より御礼申し上げます。ご来場者数は、実来場者数 7,049 名、延べ来場者数 10,199 名に上りました。開催にあたり、高橋聡理事長をはじめとする学会役員の皆様、会員の皆様、ならびに学会事務局の皆様から多大なるご指導とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。



本大会のテーマは「臨床検査科学を楽しむ」でした。講演、シンポジウム、学会発表、各種セミナー、RCPC では、多くの皆様に熱心にご参加いただき、活発な討論が繰り広げられました。私自身も、皆様とともに臨床検査科学の魅力をあらためて感じる事ができ、とても楽しく、充実した 3 日間を過ごすことができました。また、JACLaS 様との合同交流会も多くの皆様にご参加いただき、会場に広がる皆様の笑顔を拝見しながら、神戸ならではのおいしい料理を囲み、交流を深めることができました。本大会を通じて、皆様に臨床検査科学の楽しさを感じていただき、その学びや交流を今後の業務に生かしていただけたら、これに勝る喜びはございません。

来年の第 59 回大会は、虎の門病院分院の増田亜希子先生を大会長として、「つながる知、支える力 — 多職種で創る臨床検査の新たな価値—」をテーマに、2027 年 10 月 7 日から 9 日まで、パシフィコ横浜にて開催されます。次回大会にも多くの皆様にご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

大会を終えた今、外園栄作実行委員長とともに、まるでお祭りの後のような寂しさを感じております。それだけに、本大会が多くの皆様に支えられ、皆様とともに充実した時間を過ごすことができた喜びを、あらためてかみしめております。

最後になりますが、本大会にご参加、ご協力いただきましたすべての皆様に、あらためて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

日本医療検査科学会第 58 回大会

大会長 清宮 正徳

国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科教授